HITACHI

日立ストレージソリューション
オールフラッシュアレイ

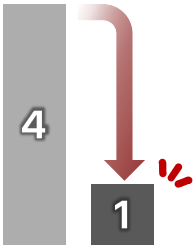
効率性と信頼性を両立した環境配慮型データストレージ

Hitachi Virtual Storage Platform One 2U Block Appliance

データ爆発時代を支え、データを価値に変える

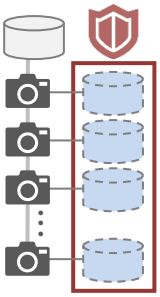
大量データの保存や保護・利活用に対応可能な高い効率性と信頼性を実現するとともに、
環境への配慮を追求した次世代のデータストレージです。

大量データの保存・利活用に対応



- 日立独自のハードウェアによる圧縮処理で性能影響を抑えながらデータ量を削減し、データの保有コストを低減します。データ削減率は4:1を保証*1。目標のデータ削減率に達しなかった場合は、不足容量分のドライブを提供いたします。
- サーバからストレージまでエンドツーエンドのNVM Express™ (NVMe™) 環境で、生成AIや機械学習などデータインテンシブなアプリケーションのニーズに対応する高速アクセスを実現します。
- ドライブは性能に優れるTLC*2と、容量単価を抑えたQLC*2からお選びいただけます。
TLC・QLCドライブの混載をサポートし、性能・容量要件両方に1台のストレージでお応えします。

サイバー攻撃からデータを堅ろうに保護



- 第三者による改変ができないスナップショットデータの保管と迅速な検疫・復元により、悪質・巧妙化するランサムウェアからデータを保護します。
- 1ボリュームあたり最大1,024世代のスナップショットを取得できます。高頻度にスナップショットを取得し、より直近のバックアップデータで回復が可能です。

省電力化・省資源化で環境に配慮

- 厳格な評価・検証のもと筐体ベゼルの40%に再生材を利用するなどストレージの省資源化を推進し、持続可能な社会に貢献しています。
- ドライブ搭載台数の最適化やCPU・ファンの制御により、稼働時の消費電力を最大66%削減*3。
EPD取得製品*4*5の提供を通して、お客さまのグリーン調達を支援します。

*1 Hitachi Virtual Storage Platform One Block 26, 28にて、圧縮と重複排除の両方を有効にした場合の値です。他モデルでのデータ削減率、ならびに保証の諸条件につきましては弊社までお問い合わせください。
*2 SSD NAND型フラッシュメモリの種類 (TLC: トリプルレベル セル, QLC: クアッドレベル セル)
*3 Hitachi Virtual Storage Platform E790 (販売開始時仕様) と Hitachi Virtual Storage Platform One Block28 の1TBあたり消費電力 (NVMeオールフラッシュアレイ最大構成時) を比較。
*4 EPD(Environmental Product Declaration)：製品やサービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体の環境影響を評価し、第三者検証を実施した製品環境情報。
https://www.hitachi.co.jp/products/it/sustainability/environment/products-services/cfp/index.html
*5 Hitachi Virtual Storage Platform One Block 23, 26, 28でEPDを取得。

■ 主な仕様

項目			仕様			
モデル			Hitachi Virtual Storage Platform One Block 21	Hitachi Virtual Storage Platform One Block 23	Hitachi Virtual Storage Platform One Block 26	Hitachi Virtual Storage Platform One Block 28
形名			HT-40SS-NNANNA HT-40SS-NNANKA HT-40SS-NNANHA HT-40SS-NNANJA	HT-40SQ-NNANNA HT-40SQ-NNANKA	HT-40SP- MNDNNA HT-40SP- MNDNKA	HT-40SN-MNENNA
ホストインターフェース	最大ポート数	ファイバチャネル	8	16 (8) *1	32 (24) *1	
		FC-NVMe	8	16 (8) *1	32 (24) *1	
		iSCSI	4	8 (4) *1	16 (12) *1	
		NVMe/TCP	–	–	8 (8) *1	
ドライブ搭載可能台数*4	NVMe SSD ドライブ (コントローラーシャーシ)		24台*2	24台*2	24台	24台*3
	NVMe SSD ドライブ (NVMe ドライブボックス)		–	48台	48台	48台
サポートドライブ	NVMe SSD ドライブ容量	TLC	1.9TB/3.8TB/7.6TB/15TB		1.9TB/3.8TB/7.6TB/15TB/30TB/60TB	
		QLC	15TB/30TB		15TB/30TB/60TB	
最大容量	アレイシステム内部ストレージ (物理)		361.2TB (328.5TiB) : TLC時 722.3TB (656.9TiB) : QLC時	1.1PB (1.0PiB) : TLC時 2.2PB (1.9PiB) : QLC時	4.3PB (3.8PiB)*3	
	アレイシステム外部ストレージ (論理)		72PB (64PiB)	72PB (64PiB)	144PB (128PiB)	216PB (192PiB)
キャッシュメモリ物理容量			256GiB		768GiB	1024GiB
データ保護方式			Dynamic Drive Protection (内部RAID幅：6D+2P, 14D+2P, 3D+1P)			
電源入力 (AC)			単相 100V/200V		単相 200V	
コントローラーシャーシ仕様	EIA規格ユニット数*5		2			
	外形寸法 (W×D×H)*6		482x852x87 mm			
騒音レベルLpAm (dB) *7	動作時	コントローラーシャーシ	70dB *8	70dB *8		
		NVMeドライブボックス	–	60dB		
	待機時*9	コントローラーシャーシ	60dB	60dB		
		NVMeドライブボックス	–	55dB		

※ 1GB=1,000³バイト、1TB＝1,000⁴バイト、1PB＝1,000⁵バイト、1GiB＝1,024³バイト、1TiB＝1,024⁴バイト、1PiB＝1,024⁵バイトとして計算した値です。

*1: 括弧内の数値はディスクボードを接続した時のポート数です。

*2: Hitachi Virtual Storage Platform One Block 21, 23では、搭載オプションの種類や員数、使用環境 (温度) によりドライブ搭載可能台数が変わります。詳細はお問い合わせください。

*3: Hitachi Virtual Storage Platform One Block 28でQLC NVMe SSDを搭載した場合は、ドライブ搭載可能台数は18台、最大容量は4.0PB (3.5PiB) になります。

*4: TLC NVMe SSDとQLC NVMe SSDを混在搭載する際は、DDP (Dynamic Drive Protection) グループをTLC・QLC別に作成する必要があります。

*5: コントローラーシャーシの高さと、ラック筐体の物理ユニット数を示します。ユニットとは、ラック筐体に開けられている取付用の穴と穴との間隔 (高さ方向) を言い、EIA (Electronic Industries Association) のパネル取付規格では、ユニットは44.45mmとなっています。

*6: 外形寸法にはケーブルおよびケーブル固定クランプ、ケーブル固定ネジを含みません。

*7: 騒音値はISO7779に準拠して以下条件で測定し、ISO9296に基づいて宣言された値です。通常の装置環境設定(データセンター／一般オフィス)では本ストレージ装置以外の騒音源 (装置) や騒音を反射する壁、天井といった上記ISO規定の測定条件と異なる要素に囲まれるため、表中に記載の値は設定環境での騒音値を保証するものではありません。

- ・測定環境：環境温度23℃±2℃の半無響室で測定
- ・装置搭載位置：コントローラー筐体はラック最下段、拡張筐体はラック内高さの1.5m付近
- ・測定位置：装置前後左右から各1m、高さ1.5m (4箇所)
- ・測定値：前後左右4点のエネルギー平均値

*8: 騒音値は、環境条件[温度/高度]、装置構成、および装置動作条件により70dBから85dBの間で変化します。

*9: PDUブレーカーがオンの状態では、装置をパワーオフしても冷却ファンが回転しています。

JMI-0231

MS CM009

本製品*10は、EPDを取得しています。詳細は、Webページにてご確認いただけます。

日立の情報・通信部門のEPD取得製品一覧Webページ
https://www.hitachi.co.jp/products/it/sustainability/environment/products-services/cfp-products/index.html

*10 Hitachi Virtual Storage Platform One Block 23, 26, 28

Webページには QRコードからも アクセスいただけます

安全に関するご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「ハードウェア オペレーティングマニュアル」をよくお読みのうえ、おまもりください。

- 本資料に記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。
- カタログに記載の仕様は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。製品の色調は、実際のものと異なる場合があります。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業または以下よりお問い合わせください。

製品に関する詳細・お問い合わせは下記へ

■ 製品情報サイト
https://www.hitachivantara.com/ja-jp/products/storage-platforms

■ インターネットでのお問い合わせ
https://www.hitachi.co.jp/storage-inq/

■ 電話でのお問い合わせはHCAセンターへ
0120-2580-12 受付時間 9:00～12:00、13:00～17:00 （土・日・祝日・当社休日を除く）

製品情報サイトには QRコードからも アクセスいただけます。

日立ヴァンタラ株式会社

2026.04

© Hitachi Vantara, Ltd. 2024, 2026. All rights reserved.